



# 日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

JUNE 2017  
REPORT MAGAZINE

会報誌 | vol. 51 no. 4

Published by JAIP 1-1-13-4F, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

e-mail:office@jaip.jp

## 理事会報告 2017年6月22日 (木)

出席(敬称略)グレスヤム、山川、仲、細谷、鶴(事務局)

### 1. 予算

事務局から4-5月の予算状況の説明があり、承認された。

### 2. 財政問題 (継続)

事務局の在り方、会報、ダイレクトリーのデジタル化、会員増強、経費の見直しなど来年度予算策定時までには総務委員会の協力を得て結論を出す。

### 3. 推薦理事

出された候補者に打診を行い、感触が得られれば、理事長がお願いに出向く。

### 4. 委員会報告

・総務：委員長に平野氏(ユサコ)。担当理事に山川副理事長。

・メディア・広報：会報6月号を編集中。新メンバーで8月号の編集会議を行う。

・文化・厚生：委員長に山田氏(アシェット)。関西パーティーは今年も9月15日に実施する。ただ、関西の会員が参加しない事に開催を疑問視する意見も出された。今年の結果を見て来年再考する事とした。ボウリング大会は8月1日。ラフティングは秋に実施する方向。英語文楽、野球観戦などの意見も出された。

・事業：委員長に石谷氏(丸善雄松堂)。TIBFの中止は痛手。神保町BFに合わせ、ワゴンセールへの参加を検討。

### 5. その他

新年会は1月12日(金)に実施する。会場の選定に入る。

## 海外ニュース

### 稀観書専門店が「ハリー・ポッター」の初版本を4,000ポンド以上で販売

稀観書専門店が、Harry Potter and the Philosopher's Stone (Bloomsbury) の2冊の初版本を、合計約10,000ポンドの値で売りに出した。

稀観書専門店Peter Harringtonは、J.K.ローリングのハリー・ポッター・シリーズの一作目の初版ペーパーバック2冊をそれぞれ4,950ポンドと4,250ポンドで販売した。12の出版社に断られた後、Bloomsburyが出版を引き受け、初版ハードバック500部、ペーパーバック5,150部で1997年6月26日に発売されたものだ。

(<http://www.peterharrington.co.uk/blog/is-my-harry-potter-book-valuable-2/>)

Peter Harringtonのスポークスマンは言う。「初版のハードバックは非常に珍しく、500部のうち300部は学校や図書

館に納められ、それらは本の状態がよくありません。ということは、とりもなおさず残りの200部がとても貴重ということになり、未読本であればなおさらです。

20年前、ハードバックは10.99ポンドでしたが、今、弊社の見積もりでは、状態のいい初版本の初刷なら、50,000ポンドは下らないでしょう」

印刷部数の多いペーパーバックはハードバックより10倍多い—当初4.99ポンドだったのが、4,000ポンドになるとの見積りだ。

Peter Harringtonは1969年創立、現在Fulham RoadとChelseaに店舗を持ち、Dover Streetに新店舗がオープンした。

(The Bookseller Online, June 6, 2017)

情報提供：MHM 遠藤尚子

# JAIP新旧理事長対談

前理事長の相澤久俊氏（極東書店）と今年理事長に就任したマーク・グレシャム氏（株式会社MHM）に洋書協会が現在抱えている課題や今後の方針について語っていただきました。

インタビュアー：

アカデミア・ミュージック株式会社 平岩寧氏

## ◆前理事長による回顧

**平岩：**この2～3年、業界の状況が大きく変わり、相澤さんが理事長就任当初に持っておられた抱負を実現するのは困難だったと思いますが、その辺りから感想などあればお願いします。

**相澤：**2年間の限られた時間の中では、やはりやり残したことが多かったという思いです。洋書協会に参加している各社の共通課題をどのぐらい追求できるかということを考えていたのですが、思っていた以上に世の中のスピードが早くて、そこに追いつかないで終わってしまったな、という印象があります。

**平岩：**なかなか思うようにいかなかったということですね。

## ◆新理事長による方針

**平岩：**相澤前理事長はやり残したとおっしゃっていますが、新理事長に就任されたグレシャム理事長は、今後何をどうやっていこうと考えていらっしゃるのでしょうか？

**理事長：**ご存じのように、理事長になるのは今回で2度目なのですが、前回の2005年から2009年の頃には、会員数は70社くらいありました。しかし、わずか10年足らずで今は50社にまで減ってしまいました。会員が減った理由は様々ですが、やはり重要な一つの理由は「JAIPの価値観が見えない」ところにあるのだと思います。新しい会員を勧誘するには「協会に参加するメリットはなんですか？」という質問に答えなければなりません、今はそれが難しいですよ。だから、この新しい理事会でJAIPの価値観・メリットを考えなければならないと思います。相澤さんがおっしゃったとおり、会員各社はそれぞれ洋書、雑誌、データを扱っているなど様々で、その共通のところを探さなければなりません。このことは総務委員会にも問題として協議してもらわなければならないと思っています。また、会員数の減少でもちろん収入も減っていますので、会社と同じようにマネジメントして収入を増やさなければならない。経費を減らす必要もあります。

**相澤：**非常に分かりやすいお話で、やはり協会に入っているメリット、つまり協会そのものの存在価値、それが共通にならないことには非常に厳しいですよ。

**理事長：**そうですね。先ほども言いましたが卸し屋も小

売りも、全然印刷物を扱っていないところもある。それで一つの目的やメリットで「じゃあ、こうしましょう」というのはなかなか難しいです。

**理事長：**それにもう一つ、この協会の名前は英語ではJ、Japanで始まります。でも関西の会員は結局、至誠堂さんのみで、ほとんど東京になってしまったんですよ。関西もどうすればよいか考えなくなってしまう。そうしないと、もうJAIPじゃなくてTAIPになっちゃうんですね。(Tokyo Association of International Publications)

## ◆プリントから電子への流れ・今後やるべきセミナー

**平岩：**以前はプリントしたものを扱っているという共通点がありましたが、今は電子ブックなどが増えましたし、大きく変わってきているのではないのでしょうか？

**理事長：**そうですね。大学でも少し前は電子ブックの特別予算はなかったのに、今は少しずつそういう予算がつくられています。すると、電子ブックをやっていないところにはその予算は全然回らないですから。もしかしたら電子ブックを全然やらない会社のために「電子ブックとは何か」とか、「電子ブックをどうやって出すのか」などのセミナーもやるべきかもしれません。協会の中ではそういうノウハウがある会社がありますし。

**相澤：**そうですね。

**平岩：**電子ブックの場合、出版社とユーザーが直接つながるので、仲介業が成り立ちませんよね。ですから、流通の中間にいる業者には難しくなってしまう。ただ、音楽の業界は、部分的にはほとんど電子されているのですが、演奏する場合は紙の楽譜が必要ですから、まだ問題は大きくはありません。

**理事長：**うちの会社はほとんど自然科学の分野は扱っていないのですが、お医者さんとかはみんな少しずつ電子的な資料を選択することが増えているようです。でも、本はまだ必要ですよ。

**相澤：**人文系であっても、本がなくなってしまうことはないと思いますが、限りなく減少していく、そういうリスクはかなり高いと思います。

**理事長：**ですから、大手の会社は電子もやっていますが、小さいところはまだやれていなくて、それを協会としてどうサポートできるのかということが大事だと思います。

**相澤：**さっきのお話ですよ。協会ですらそういう技術講座みたいなものをするという。

**理事長：**はい。消費税が5%から8%に変わった時にセミナーをやりまし、国外からの電子的なサービスの提供に消費税（リバースチャージ）がかかる時にもセミナーをやりまし。その2つは、やはり自分のビ

ビジネスに関わっているから、すごく多くの人が集まりましたよね。

相澤：そうですね。

理事長：だから同じように、海外のエキスパートを呼んで英語でやっても良いし、もちろん英語でなくても良いので、何かそういったものを一つできればと思っています。

### ◆ブックフェア開催の問題

理事長：もうひとつ直近の問題として、今年東京国際ブックフェアがないことがありますね。バーゲンブックコーナーもない。会員から「JAIPに入っている目的はバーゲンで、それがないと、うちは困る」という声を聞きました。これも、次の理事会、総務委員会、事業委員会で考えなければならないことです。

相澤：確かに、一大イベントとして位置付けてやっていた会社さんも幾つかあるでしょうしね。

理事長：協会の収入としてはそれほど大きくないですが、それぞれの立場では結構価値があったのではないかと。

相澤：ブックフェアも、要するに今年はやんない。来年もわかりませんよね。

理事長：うん。リード エグジビション ジャパンはもう来年もやらないつもりじゃないですか。例えばこの事務所で2日間のブックフェアをやるとしても、宣伝が問題です。ブックフェアはすごくたくさんの方が来ます。

相澤：宣伝、周知徹底するって大変なことですからね。本当は東京国際ブックフェアに代わる何か大きな取り組みがあって、そこに便乗できるのが一番いいんですけど、簡単には思い浮かばないですね。

平岩：そういうことも考えて、どっかいろいろなところと相乗りのできそうなところを探す必要もあるかもしれませんね。

### ◆総会での山川隆司さんが発言されたことについて

理事長：先日の総会で山川隆司さんが「これからはJAIPとして文科省や国会図書館などに挨拶に行っ、何かロビー活動のようなもの、あるいは我々の存在を何かしらアピールすることを検討してほしい」といっていましたが、そのことについてどう思いますか。

相澤：国会図書館に協会として挨拶に行くのは良いと思います。確かに国会図書館には会報を納品しています。

理事長：この前、書協の動きで今度消費税10%への増税に対して、「本は教育、文化の意味で0%にして欲しい」という軽減税率の話を進めていると聞きました。もしJAIPが同じように考えると、書協と一緒に動けば、個別に動くよりも何か影響を与えられるのではな

いかと思います。

相澤：なるほど。税金かからないほうが消費者にとっては良いですし、そういう取り組みは一つの検討事項としては良いと思います。ただ、一面では軽減税率により手間暇がかかるようになるということで反対の立場の人結構いるようです。むしろJAIPの中でも、少し検討議題として考えてみてはどうでしょうか。

理事長：そうですね。

平岩：ある意味じゃ、この問題は文科省にわれわれの立場存在を認識してもらうためには、やりやすい部分ですし、必要ですね。

理事長：そう思います。

### ◆協会内のコミュニケーションの場

理事長：JAIPはこれから若い人たち、次のジェネレーションにアピールしなければならないと思います。経営者たちの話だけじゃなくて、サマーパーティーなどで若い人たちの話を一度しっかり聞きたいなと思うんです。

相澤：そうですね、やっぱり若い人たちは非常に真面目だから、感じていることは大きいと思いますよね。

理事長：そうですね。昔の同好会がいろいろあったじゃないですか。釣り、マージャン、テニス、ゴルフとかね。今は1つだけ残っているのですが、その1つはすごく成功していて、毎回、20~30人いろんな会社から若い人たちが参加しています。でもやっぱり、同好会ではなくても年に1回例えば野球とか、オペラ見に行くとか、JAIP通して集まれる場を増やせたら良いと思います。

相澤：いいですね、それ。小さな組織といっても本当に多彩な人がいるから。

### ◆まとめ

平岩：そろそろお話のまとめに向かいたいのですが、先ほど理事長から若い人にどうつないでいくのかというお話が出ました。やはり大きな課題だと思いますが。

理事長：今、各委員会に若い人たちが入ってきているので、今日話題になったこれからやりたいことを、思いきって若い人に任せてしまおうとか。そうしないと今の若い人たちがJAIPに興味を持ってなくなってしまうのではないかと心配しています。

相澤：何か題材を与えれば若い人たちがやると思います。それをやるには何が必要かっていうと、若い人たちからいろいろ出てきますよ。いろいろなツールを持っていますから。

平岩：年寄りがしゃしゃり出ると逆にブレーキをかけてしまうから、どんどん若い人たちに任せていくようにしたいですね。

# 総会報告

2017年度定時総会は5月12日（金）午後4時30分から国際文化会館（東京都港区）にて開催された。

〔出席状況〕 出席 18社  
委任状 24社  
計 42社

正会員45社に対して上記のとおり過半数の出席を得たので、協会定款第31条の規定に基づき本総会は成立した。

河村総務委員(丸善雄松堂)の司会・進行により開会し、正田事務局より総会出席状況（上記）および2015年度の会員動向が報告された。

会員動向：

入会：

（正会員）三浦書店（8月）、MHM（10月）

退会：

（正会員）学術著作権協会（6月）、ゲーテ書房（11月）、DHインターナショナル（3月）

東京ブックランド（3月）

（賛助会員）日新（3月）

昨年の総会時に対し、正会員2社減の45社、賛助会員1社減の5社 計50社

初めに相澤理事長(極東書店)から開会の挨拶・理事会報告及び各委員会の2016年度の活動報告が行われた。（一部資料での説明）

議案審議〔議長:相澤理事長〕

## 【2016年度決算報告】

滑川総務委員長（極東書店）より2016年度の決算内容の説明があり(\*1)、その後青柳監事（南江堂）より監査報告がなされた。採決の結果2016年度の決算は承認された。

以上で議長がグレシャム（新）理事長に交代。先ず新理事の紹介があった。山川副理事長（ユサコ）、仲理事（丸善雄松堂、事業）、細谷理事（ビューローホソヤ、メディア・広報）、鶴理事（東亜ブック、文化・厚生）総務担当は理事長。その後2017年度の活動方針が発表された。

## 【2017年度予算案】

滑川総務委員の内容説明(\*2)の後、採決の結果2017年度予算は可決、承認された。

また以下の質問（提案）があり、理事会、委員会で討議する旨議長から返答があった。

1. 収支のバランスを考えた場合、支出の1/3を占める人件費の抑制、会報、ダイレクトリーのHPへの一元化が必要。KBIAの様なボランティア組織でも良いのでは。(\*3)
2. 中小書店へのサービス向上。
3. 文科省や国会図書館への広報・啓蒙活動（以上山川隆司氏）
4. 時代の変化への対応が必要。
5. 会員の協力を仰ぎながら、出来る範囲での活動で良い。（以上鶴三郎氏）

以上ですべての議事を終了し、松村副理事長（センゲージ ラーニング）の挨拶を以て2017年度定時総会を閉会した。

## 【補足説明】

(\*1) 年会費収入が減少し財務状況が厳しい中でも、理事会を始めとして、各委員会、事務局などそれぞれ工夫しながらなんとか活動水準を落とさないよう努められてきたのではないかと考える。

(\*2) 前期繰越金が減り、洋書バーゲンセールが行われないなど会費および雑収入の減少は、活動に大きな影響があり、状況を改善するが課題となっている。

今期はこれまでの活動を踏襲し活動内容を落とさないよう、全体として前期予算水準を維持。

(\*3) KBIAは韓国書籍輸入協会。事務局はボランティアで運営されていたが、引き受け手が無く数年前に解散した。



# BOOK EXPO 2017

5月31日～6月2日に開催されたアメリカ最大のブックフェアBook Expo Americaに参加してきました。2016年はシカゴでの開催、今年、来年2018年はニューヨークでの開催です。会場はミッドタウンのハドソン川沿いにあるジェイコブ・ジャビッツ・コンベンション・センターです。2年ぶりのニューヨーク開催ですが、地下鉄7号線が延伸してすぐ近くに駅ができていて、タイムズ・スクエア駅から1駅でとても便利になりました。今まではマジソン・スクエア・ガーデンのペン・ステーションからバスに乗るか、歩くと15分から20分ぐらいかかっていたのでかなりの進歩です。

基本的にアメリカ国内向けのブックフェアなので、フランクフルト・ブック・フェアのようにテーマ国があったりすることもなく、毎年同じような光景です。アメリカでは電子書籍の売上が頭打ちになり、紙の書籍の売上減少に歯止めがかかり、少なくとも弊社のような紙の書籍しか扱わない会社、並びに取引先は、(来年はここに来られるかどうかしらん)というお先真っ暗な状況からは少し脱して、(まあなんとかなるかもね)と一息ついている状況で、嵐が治まってくるとそこには妙な連帯感のようなものが生まれています。地下鉄に乗っていてもスマホ優勢なのは日米変わらずですが、ペーパーバックを読んでいる人もちらほら見受けられ、分厚いペーパーバックの背が緩んでたわみ、広がった本のページに集中しながら読んでいる人々の光景には心も和みます。

ブックフェアでは数百人という作家達が日替わりでサイン会に登場し、読者サービスに励んでいました。ホラーの巨匠ステイブン・キング、宇宙空間連続滞在日数340日の記録を持ち、今年秋に自著を出版予定の宇宙飛行士スコット・ケリー、そして何とんでも目玉は、こちらも今年秋に新刊を出版予定のヒラリー・クリントン。ヒラリーはサイン会ではなく講演会でしたが、有料のチケットは即完売で入手できず、私は残念ながら姿を見ることはできませんでした。

ニューヨーク出張では、私はアッパー・ウエストサイドに必ずホテルを取ります。常宿のアパートメント式の簡易キッチンがついたホテルがあり、周辺には庶民的なスーパーが充実しており、買って来た量り売りの惣菜を温めたり、朝には卵やソーセージを焼いたりして、にわかニューヨーカーの気分を味わいます。取引先と食事の予定もない晩には、スーパーに行つて膨大な種類のチーズの中から適当に買ってきてワインを楽しんだり。食に貪欲なニューヨークなので、スーパーも個性があっ

てとても楽しめます。

いつも通っているコロンバス・スクエアにあるスーパーの上階に、アマゾンの直営店ができていました。日本でもニューヨーク1号店ということでもっと話題になっていた店です。5月24日開店ということなので、まだオープンしたてでした。ターミナル駅の本屋さん程度の広さと表現すればよいでしょうか、そんなに広くはありません。どの本も面陳で並べられており、タイトル数も限られています。本のインデックスにはネットでの読者レビューが表示されていました。ベストセラー中心の品揃えで、現金は使えず、クレジットカード決済のみ。

特に昔ながらの本屋さんと変わったところはないのですが、ひとつだけ大きく違う点は本の販売価格の表示がないことです。本には出版社が印刷した定価はあるのですが、アメリカでは本の販売価格は自由に設定することができるわけで、値引き幅も小売店によって様々、アマゾンの販売価格も日々刻々変動するわけです。インターネットでの販売価格を実店舗でも適用するために、あえて本にプライスラベルを貼ったりしていません。値段を調べたい場合は店内のいたるところにあるバーコードリーダーで本をスキャンすると現在の価格がわかります。自分のスマホでスキャンすることもできて、そうすると新刊のアマゾンの価格から、他業者からアマゾンに出品されている中古品の価格まで一目瞭然なので、購買者の選択肢も広がります。結局新刊であろうが中古であろうが、実店舗であろうがネットであろうが、アマゾンで買いものするように導かれているのですね。

その一方、ニューヨークでは個人経営の小さな書店やストランド・ブックストアなどの名物書店もがんばっています。私はニューヨークでの出張中は、まる1日をいつも本屋さんめぐりに当てます。ストランドは地元の人と観光客とが入り乱れていつも人がいっぱい。美術書や写真集のセクションは中古も新本も同じ棚に陳列されていて、トレジャー・ハンティングの感覚がたまりません。誰かが誰かにプレゼントしたのでしょう、見返しのところにFor・・・と名前が書きこまれていたり、ダスト・ジャケットがビリビリに破けていたり、その本の辿ってきた歴史を想像せずにはいられません。世界の本好きたちを常に惹きつけてやまない「聖地」のようなお店なのです。

(有限会社フォリオス 木暮 欣正)

# 我が社・わが街

## 第9回 九段下

センゲージラーニング株式会社

森澤 正樹

弊社は2000年8月より東京の千代田区九段下に事務所を構えております。九段下というところは、靖国神社をはじめ、日本武道館、千鳥ヶ淵といった名所旧跡がいろいろありまして、それらの由来などについて書くのも良いかなと思ったのですが、そうした文献はたくさんありますし、博覧強記のJAIP会員には面白くないかもしれないと思い、今回は弊社の商品であります欧文の歴史データベースでみられる九段下関連の資料をいくつかご紹介して、お茶をにごしたいと存じます。

私が所属しております弊社のGALE(ゲール)事業部は、図書館向けのレファレンス書などでも知られていますが、近頃はとくに「Gale Primary Sources」と呼ばれるデジタル化された一次資料のデータベース群に力を入れております。これらは、活字であれば文中の一語一句まで検索できるのが大きな特徴でして、そこで「kudan」とか「budokan」とかやってみて、はたして欧文資料のなかでわが街がどのように言及されているのか、試してみました。

まずは1871年9月、アメリカはウィスコンシン州ミルウォーキーの地方新聞に掲載された記事から<sup>2</sup>。同年7月(明治4年5月)に行われた招魂社(現・靖国神社)の例大祭について書いています。文中「race-track」とあるのは招魂社にあった競馬場ではないかと思われます。著者の「P.J.」が誰を指すのかはわかりませんが、日本の花火の見事さについて大変感心して詳しく描写しています。

again in the hot sun. We have had ten days of jollification here amongst the Japanese to celebrate to anniversary of the termination of the civil war, and high festival was held. Horse racing, wrestling, and day and evening—fireworks, and an exhibition of plants and flowers, stuffed animals, minerals, shells, pictures, and live birds, which was very interesting. Around the race-track, about half a mile around, were stands for lookers-on and booths for the sale of chow chow (eatables), toys, etc., the whole place thronged with good-natured Japanese, of all ages and both sexes. This festival was held in a part of Yeddo called Kudan, about four miles from the hotel, and I went there in a jinrikiska in about thirty-five minutes. Ar-

つづいてこちらは1899年(明治32年)3月、アメリカ公使館から本国へ送られた報告書の添付文書で、フィリピンの使節団と日本の報道陣との会談についての新聞記事切抜きです<sup>3</sup>。当時は米比戦争の真っ最中ですので、当局はこうした動きに目を光らせていたのでしょう。通訳として九段の

「Morning Star」School」の学生が同席したとありますが、「暁星学校」の直訳ではないかと思われます。もちろん暁星学園は今でも九段下の近くにあります。



「Budokan」で検索してもいろいろと出てきますが、下記はぐっと時代が下って1969年(昭和44年)、『Economist』紙に掲載された朝日新聞社の全面広告です<sup>4</sup>。同年秋に東京で開催される「British Week」にあたって、朝日新聞への広告掲載を募る内容となっています。日本武道館で開催されたこのイベントは、当時の報道によれば大成功だった模様で、あるいはJAIP会員のなかには記憶されている方もいらっしゃるかもしれません。



以上、とりとめもない内容ですが、コラムの名を借りた商品広告をこの辺でおわりにしたいと思います。なお、弊社の歴史データベースをいじってみたいという会員の方には、期間限定のパスワードを差し上げますので、どうぞ森澤(masaki.morisawa@cengage.com)までご一報ください。

1 九段界隈の歴史については「千代田まち事典」(東京:千代田区民生生活部, 2005年)というすばらしい本があります。あいにく絶版ですが、千代田区図書館などでご覧いただけますので、ぜひ一読ください。

2 P. J., and Correspondence of the World. "Japanese Festivities." Milwaukee Daily Sentinel, 1 Sept. 1871. Nineteenth Century U.S. Newspapers, tinyurl.galegroup.com/tinyurl/4sQPQ7.

3 September 3, 1898-July 29, 1899. September 3, 1898-July 29, 1899. MS Despatches from U.S. Ministers to Japan, 1855-1906 Volume 72. National Archives (United States). Nineteenth Century Collections Online, tinyurl.galegroup.com/tinyurl/4s5QA3.

4 "Asahi Shimbun." Economist, 5 July 1969, p. 28. The Economist Historical Archive, 1843-2011, tinyurl.galegroup.com/tinyurl/4sQh71.

May 2017

640 pages

9781911116219

Hardback

£30.00

時と悲嘆の：無常についての反省

## Of Time and Lamentation: Reflections on Transience

By Raymond Tallis

The passage of time, the direction of time and time travel are critically examined and the relationship between mathematics and reality, and the nature of the observer, are explored.

April 2017

192 pages

Hardback

9781911116639

£60.00

Paperback

9781911116646

£16.99

英EU離脱の政治経済学

## The Political Economy of Brexit

Edited by David Bailey and Leslie Budd

This collection of essays explores the ramifications of Brexit for the UK and European economies.

May 2017

192 pages

Hardback

9781911116073

£50.00

Paperback

9781911116080

£15.00

音楽の経済学

## The Economics of Music

*The Economics of Big Business*

By Peter Tschmuck

This book offers a concise, rigorous presentation of the economic fundamentals of the music industry in particular and the music economy in general.

April 2017

176 pages

Hardback

9781911116455

£50.00

Paperback

9781911116462

£15.00

生活賃金

## The Living Wage

*The Economy: Key Ideas*

By Donald Hirsch and Laura Valadez-Martinez

This short primer traces the origins of the concept of the living wage and seeks to explain the current rise in its fortunes as an economic instrument with a social objective.

# 海外出張・海外見本市の視察を全力サポート！

海外出張・見本市の手配は、ジェイワールドトラベルにお任せください！  
“専任のスタッフ”が決め細やかなサービスで快適な旅をお手伝いいたします。

## FRANKFURT BOOK FAIR

2017年10月11日～10月15日

>>>> 予約受付中 <<<<

10月10日出発 航空券 + ホテル手配 <モデルプラン>

### ①HOTEL IBIS FRANKFURT CITY MESSE (★★)

<ホテル裏に路面電車の駅 (REBSTOCKBAD駅) があり、見本市会場までトラムにて7駅。>  
旅行代金：4泊6日 ￥225,000 (お一人部屋追加代金 ￥66,000)

### ②HILTON GARDEN INN FRANKFURT AIRPORT (★★★)

<スカイウォークにてフランクフルト国際空港に直結。見本市会場までは空港駅からSバーンにて約20分。>  
旅行代金：4泊6日 ￥228,000 (お一人部屋追加代金 ￥68,000)

### ③SHERATON FRANKFURT CONGRESS HOTEL (★★★★)

<メイン川南側に位置、最寄駅 (NIEDERRAD駅) から見本市会場までSバーンにて約25分。>  
旅行代金：4泊6日 ￥229,000 (お一人部屋追加代金 ￥70,000)

### ④SAVOY HOTEL (★★★★)

<フランクフルト中央駅向かいに位置、見本市会場まで徒歩約15分。>  
旅行代金：4泊6日 ￥249,000 (お一人部屋追加代金 ￥90,000)

### ⑤AMBASSADOR HOTEL FRANKFURT (★★★★)

<フランクフルト中央駅近くに位置、見本市会場まで徒歩約15分。>  
旅行代金：4泊6日 ￥259,000 (お一人部屋追加代金 ￥86,000)

### ⑥MONOPOL (★★★★)

<フランクフルト中央駅に隣接、見本市会場まで徒歩約15分。>  
旅行代金：4泊6日 ￥260,000 (お一人部屋追加代金 ￥101,000)

### ⑦INTERCONTINENTAL HOTEL FRANKFURT (★★★★★)

<フランクフルト中央駅から徒歩約5分。見本市会場まで徒歩約20分>  
旅行代金：4泊6日 ￥275,000 (お一人部屋追加代金 ￥115,000)

上記以外にも、ジェイワールドトラベルでは、お客様のニーズに合わせた旅行手配を承ります。  
専任のスタッフが、お問い合わせからご帰国までをサポートし、ベストなプランをご提案いたします。

## お問合せ・旅行手配



JATA正会員 / 観光庁長官登録旅行業 第1359号

## 株式会社ジェイワールドトラベル

お問合せ

Tel 03-3402-9955

〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル6F  
URL [www.jw-trvl.co.jp/](http://www.jw-trvl.co.jp/) Email [tet@jw-trvl.co.jp](mailto:tet@jw-trvl.co.jp) 担当: 藤代

日本洋書協会会報 vol.51 No.4(通算547号) 発行日2016年7月1日 編集者 松野 夏生

発行所 日本洋書協会 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-13 (株)MHM内 TEL 03-3518-9631 FAX 03-3518-9523  
URL:<http://www.jaip.jp> E-mail:[office@jaip.jp](mailto:office@jaip.jp)